学校教育担当
キャラクター
甲斐善之助

西部教育局からのお役立ち情報
今月のトピック紹介版

4月号

令和7年度　西部教育局学校教育担当の取組

組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」
安心できる学級でスタートするために

鳥取県情報サイト
「とっとり教育ポータルサイト」を活用しましょう！

とっとり「学びの部屋」へアクセス！

西部教育局ホームページへアクセス！

令和7年度　西部教育局学校教育担当の取組

学　校
学校教育目標の達成（学校経営の充実）

連携・協力

市町村（学校組合）教育委員会
地域の特色を生かした学校づくり

連携・協力

幸せに生きるための、
確かな学力と豊かな人間性、
社会性を身に付けた子ども

学習指導要領の実施の充実に向けて、学校のニーズに応じた学校訪問・支援を行います。

西部教育局学校教育担当
対象組織のニーズに応えるチーム支援
相互の信頼関係の構築と情報の提供

マネジメントサイクルを意識しながら各種事業・研修会等を効果的に実施し、対象組織の課題解決を支援します。

特別支援教育担当
一次支援の充実
校内支援体制の更なる充実

【特別支援学級の目指す姿】
- □個に応じた適切な教育課程の編成と確実な実施
- □自立活動の正しい理解と実践
- □個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成と効果的な活用

⇒特別支援教育専門員による巡回相談、依頼相談

連携・協力

【通常学級の目指す姿】
- □個に応じた支援の検討と充実

⇒LD等専門員による巡回相談（年2回）、依頼相談（随時）の実施

- □効果的な環境整備

⇒LD等専門員による一次支援研修

【局の主な取組】
- ・教職員を対象とした特別支援教育に関する研修
- ・特別支援教育相談会　・市町村（学校組合）教育委員会特別支援教育担当者会

学力向上担当
全ての子どもが
「わかった」「できた」を実感できる授業

【学校の目指す授業・研究の姿】
- □本時で身に付けるべき指導事項が明確な授業
- □指導と評価の一体化が図られた授業
- □「めあて－まとめ・振り返り」の質的向上
- □全ての子どもが学びを実感できる授業展開の充実
- □ミドルリーダーを活用した若手教員の育成
- □全ての教員が授業力向上に取り組む研究組織

連携・協力

【局の主な取組】
- ・各種研修会の開催
- ・島根大学との連携
- ・単元到達度評価問題
- ・単元たしかめ問題
- ・B-PLAN問題
- ・校内研究推進事業

学習指導要領
めあて－まとめ・振り返りの質的向上と展開の充実
単元全体指導と評価の一体化

連携

幼児教育担当
子供の育ちと学びをつなぐ円滑な接続

【園の目指す姿】
- □「遊びきる子ども」を育む保育の充実
- □園内研修の充実
- □学校評価・園評価の改善

連携・接続

【小学校の目指す姿】
- □児童と幼児の交流や保育体験後の協議の充実
- □スタートカリキュラムの改善

架け橋期のカリキュラム　編成

【局の主な取組】
- ・幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会（3回）
- ・幼児教育センター各種研修会　・計画訪問、要請訪問
- ・幼保小の架け橋プログラム推進事業　・幼保小接続アドバイザーの活用推進

生徒指導担当
組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」

【学校の目指す姿】
- □「楽しい」と実感できる魅力ある学校・学級づくり
- □児童生徒理解に基づく適切な支援
- □新たな不登校を生まないための早期発見・早期支援
- □積極的ないじめの認知による早期発見・早期対応
- □問題行動等の未然防止・組織対応

連携・協力

【局の主な取組】
- ・地域や学校のニーズにあった情報提供
- ・校内研修等への支援
- ・学級づくりや校内指導体制への助言

学級づくり
児童生徒理解
チーム対応

★人権意識の向上　★ICTの効果的な活用

組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」

安心できる学級でスタートするために

西部教育局
お役立ち情報
令和７年４月号

年度当初の学級づくりのポイント

ポイント① 教員と子どもの思いや願いを共有した学級経営の目標づくり（学級目標の設定）

学校教育目標
◆目指す学校像
◆学校経営方針

学年目標
◆学年経営方針

思いや願い
◆子ども
◆保護者
◆学級担任
◆地域

子どもの実態

目指す子どもの姿の整理

学級全体の生活目標と学習目標の両方を意識して作成

学級目標
◆目指す学級像
◆学級経営方針

個人目標

学級目標は、目指す学級の姿です。まずは、担任としてどのような子どもを育てたいのかを考えましょう。目標を考える際には、その目標が実態に即したものか、実現可能なものか、短期で達成度がはかれるものかなどを、子どもたちと一緒に話し合いながら作成することが大切です。

ポイント② 生徒指導の実践上の視点を意識した人間関係づくり

生徒指導の実践上の視点とは？

R7.３月お役立ち
「次年度へ向けて３学期にできることを考える②」

視点	年度初めに実践したいこと（例）	実践上の留意点
自己存在感の感受	・子どもたちの名前と顔を早く覚えて、毎日すべての子どもとの一会話。 ・一人一人の当番活動や班での係活動を設定。 等	・何気ない一言でも、「いつも頑張りを見ている」というメッセージを送る。 ・掲示物等で可視化して、子どもたちに役割意識をもたせる。 等
共感的な人間関係の育成	・子どもたちが自分のことを開示するような活動を設定。 ・人間関係づくりの手法（構成的グループエンカウンター等）を活用する。 等	・失敗や間違いに対して、どうすればできるようになるのかをみんなで考える。 ・お互いの良いところや頑張りを認め合える雰囲気を大切にする。 等
自己決定の場の提供	・子どもたちが思いを出しやすい場の設定。 ・教師からの指示や提案ではなく、子どもたちで対話や議論をすることができる環境や機会の設定。 等	・日記や生活ノート、教育相談等で思いを把握する。 ・タブレット端末を活用して全員の意見を把握できるようにする。 等
安全・安心な風土の醸成	・教師自身が自己開示をし、「こんなことは許さない」などの思いや願いを語る。 ・子どもの納得のもとで全員が守るべきルールを提示。 等	・子どもたちは教師が本気かどうかを鋭く見ているということを意識する。 ・年度当初だけの取組にならないよう年間を通して徹底させる。 等

教員と子どもの良好な人間関係づくりは、「学級開き」からの３日間で決まると言っても過言ではありません。学級がすべての子どもたちにとって安心できる「居場所」としてスタートできるよう年度当初の動きについて学校・学年間で共通理解を図りましょう。

新年度に向けた取組について
こちらもチェック！

「生徒指導上の諸課題等に対する新年度に向けた取組」動画配信
動画内容（10分程度）　掲載期間：令和7年3月27日（木）～令和7年4月30日（水）
・本県における生徒指導上の諸課題について
・新年度へ向けた取組等について

生徒支援・教育相談センター作成